



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.59 February 10, 2017

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。



新年のごあいさつ

いよいよ今年も十周年

代表 宮本倫好

今年も本会発足 10 周年という記念すべき年です。主要メンバーの多くも、発足以来ほぼそのままです。最近では女子会員も増えて非常に楽しくなりました。手前味噌かもしれませんが、全体におおらかながら、英知とユーモアあふれる会になったと自負しております。

ある国際会議に出席した某社社長が挨拶しました。通訳がついたので全体に問題はなかったのですが、社長も「せめて最後の締めは英語で」と思い、one please と言いました。終わって通訳が「社長、あれはどんな意味ですか」と聞きました。社長は「君は英語の大家と自称しながら、あんな英語も分らないのか。あれは『ひとつ、よろしく』という意味だ」と教えました。

今回の 10 周年記念事業として、IT 出版の話も進んでいます。どうか会のさらなる発展に、皆様のお知恵をお貸し下さい。そこで私も、上記の社長に倣って、one please.

以上は、短いことを旨とする私の新年会当日の挨拶概要ですが、以下は「紙面の都合」という編集長のご要望に従った追加、換言すれば蛇足です。

和顔施^{わがんせ}という言葉が仏教にあるそうです。

心からの微笑みで人を幸せにすること、だそうです。五木寛之はレストランでサービス定食にするつもりだったのが、女店員の笑顔が余りに良いので、つい二倍以上の値段の特選にしたと書いていました。和顔施が外に出る形とすれば、内なる心を和ませるのはユーモアであり、それを形にしてジョークでしょう。

わが会は「英語でジョークを楽しむ」というあたり、ちょっと highbrow ですが、英国と米国ではユーモアの形も違って面白い。ジョージ・ミケシュは「英国人は、嘘は滅多に言わないが、本当を言おうなどは夢にも思わない」と書いています。これはユーモアを複雑な衣に包んで喋るので、「どこまでが本当か、センスのない相手には通じない」という意味でしょうか。その点、米国人のユーモアはずっと分りやすい。

しかし、形は多少違っても、両国とも「ユーモアのセンスがある」と言われることが最高の褒め言葉のようです。逆にそのセンスがないと言われれば、致命的でしょう。わが会はその意味で、ユーモア・センスの陶冶という貴重な機会を与えてくれるでしょう。

2016年間功労者表彰式

MCの記

安藤 雅彦



A. ジョーク・コンテストの部

●3月 第30回

優勝 三田弘美

Wife: Honey, how would you describe me?

Husband: ABCDEFGHIJK.

Wife: What does that mean?

Husband: "Adorable, beautiful, caring, devoted, elegant, fashionable, gorgeous, and hot."

Wife: Aw, thank you, but what about "IJK"?

Husband: I'm just kidding!

●5月 第31回

優勝 村井久美子

There's a picture of a gorgeous naked woman with only her privates covered with leaves at a gallery. The husband keeps looking.

Wife: "What are you waiting for?"

Husband: "Autumn."

●7月 第32回

優勝 今井真由美

The man with laryngitis whispered over the phone, "Is the doctor in?" "No," the secretary whispered back. "Come on up."

●9月 第33回

優勝 豊田一男

"How's your son doing in college?"

"He must be doing pretty well in languages.

I just paid for three courses: \$30 for Latin, \$30 for Greek and \$200 for Scotch."

●11月 第34回

優勝 宮本倫好

As I was getting into bed, she said, "You are drunk." I said, "How do you know?" She said, "You live next door."

●11月 第34回

優勝 服部陽一

'I never take trouble home with me from the office.' 'I don't have to either; mine's usually there at home waiting for me.'

B. 研究発表の部

●3月 第54回研究発表会

宮本倫好「米大統領選の混迷とトランプ・ゲーム」

●5月 第55回研究発表会

服部陽一「科学技術の進歩にまつわるエピソードーその5」

●7月 第56回研究発表会

小池 温「英国のクラブとジェントルマン」

●9月 第57回研究発表会

豊田一男「One-liners と Two-liners」

●11月 第58回研究発表会

岡田茂富「Is it a Joke or a Quiz?」

2016年の功労者は、会場で佐川さんより配布されたリストにあるように、ジョーク・コンテストの部が6人、研究発表の部が5人である。2015年は小池会員がジョーク・コンテスト優勝3回と研究発表1回と、前人未到の4冠に輝かれましたが、昨年は宮本会員、豊田会員、服部会員が各2冠を達成されました。

残念なのは、6年連続表彰の草野会員の7連覇が成らなかったこと(剣道の段数と揃えて欲しかった!)。また艶笑界の帝王、相原会員の無冠も寂しい限りです。これは映倫より厳しいとされるJLC code of ethicsのせいかも?

各功労者には宮本会長より恒例の宝くじが授与されました。ジョーク・コンテスト優勝作品、6作のうち、英語でないとジョークにならない翻訳不能作品が一つのみだったのが、僕個人としてはちょっと残念だった。6作のうち5作が男女(夫婦)に係るもので、ジョーク界のスターであるブロンドやユダヤ人や警察官

が登場しないのも本会らしい(?)。三田会員と今井会員は生憎の不参加で残念だった。

続く研究発表の部では、宮本会員には「米大統領選の混迷とトランプ・ゲーム」の続編をトランプ・シリーズとして、大統領が弾劾されるまでお願いします。「科学技術の進歩にまつわるエピソード—その4」の服部さんは「その20」くらいまでは続ける意欲充分とみました。「英国のクラブとジェントルマン」の小池会員は、ご本人が紳士のなかの紳士で、英国での貴重な体験を披露されました。まだまだ英国・レバノン駐在関連のネタが期待できそうです。

「One-liners と Two-liners」の豊田会員、体調に留意され、ジョーク道の先達をお願いします。

「Is it a Joke or a Quiz」の岡田会員には、今後も年1回のペースで研究成果のご披露をお頼み申します。

今回も実行委員長兼総合司会の中嶋さんの見事な仕切りとタイムマネジメントに拍手を送ります。

AESOP'S FABLES ILLUSTRATED



初笑いショート・スピーチ

MCの記

小澤 正樹



歴史的なトランプ大統領就任演説の余韻が世界を覆う中、銀座ライオン(渋谷)の一室は「初笑いショート・スピーチ」で盛り上がっていました。限られた時間の中で23人もの会員がそれぞれの持ちネタを披露するという企画には、タイムキーパーとして少々不安もありましたが、ジョークは簡潔が至上、という家訓のおかげか、楽しくも刺激に満ちた時間を過ごすことができました。

それにしてもまあ、いろんな話題が出てくること。紙切りから宇宙の起源、遠ざかる方舟を見送る恐竜カップルに世界の **Word of the Year**、写真を使ったジョークがあるかと思えばご主人との日常会話(これがそのままジョークになるなんて!)まで。もう收拾がつかなくなったところで宮本代表の締めの一言 “Oh, see my death.”・・・何やら哲学的な響き。え? オシマイデス?

人々が足早に行き交う年初めの渋谷の街。そこからガラス一枚隔てた所で、思想信条も、興味関心も、人生経験も違う人たちがジョークを交わして笑っている。外から見るとちょっとおかしい集まりかもしれない。でも平和ってこういうことではないだろうか、とふと思う。多様性と寛容さ、今関心を集めている二つの特質がここにはある、なんて言うのはちょっと手前味噌でしょうか? (➡「初笑いショート・スピーチ SUPPLEMENT」)



特別寄稿

WORD OF THE YEAR

三田 弘美

研究題目：“**dumpster fire**”の意味の拡張と定着した新しい解釈を、実例を挙げて紹介する。

1. はじめに

米国の新語研究を牽引する American Dialect Society は、2017年1月6日の年次大会で、2016 Word of the Year に “**dumpster fire**” を選定した。この語の意味拡張と定着した新しい解釈を、時系列で実例を挙げ、検証したい。

2. American Dialect Society (1889年～)とは

The American Dialect Society, founded in 1889, is dedicated to the study of the English language in North America, and of other languages, or dialects of other languages, influencing it or influenced by it. American Dialect Society Members in the 127-year-old organization include linguists, lexicographers, etymologists, grammarians, historians, researchers, writers, authors, editors, professors, university students, and independent scholars.

3. Allan Metcalf氏による Word of the Year 創設 (1990～)

“If Time magazine could choose a Person of the Year for its year-end review, why couldn't the American Dialect Society choose a New Word of the Year?”

1990年夏、**Allan Metcalf** (Executive Secretary of ADS, Professor of English, MacMurray College) が “annual New Word of the Year” を提案した。John Algeo (University of Georgia)、Adele Algeo (Athens, Georgia)、David K. Barnhart (managing editor since 1982 of the Barnhart Dictionary Companion)、そして Clarence L. Barnhart らの合意と協力を得て、同年12月 ADS 年次大会で第一回 “Word of the Year” を実施した。

4. Word of the Year 選定について

- ①選定者：The American Dialect Society members and friends
- ②選定基準：その年に新たに顕著になった “vocabulary item” であること

The best word-of-the-year nominations are those words that show widespread usage by a large number of people in a variety of contexts and situations, and which reflect important events, people, places, ideas, or preoccupations of English-speakers in North America in 2016.

For the sake of the vote, “word” is broadly defined to include multiword phrases, compounds, and idiomatic expressions that behave like single lexical items. ²⁾

5. 第 27 回 “the 2016 Word of the Year” 選 定まで

① Word of the Year Nominations on January 5th (6:15pm-7:15pm)

出席者(ADS 会員)は各自、それぞれのカテゴリーごとに Word of the Year 候補の “vocabulary item” を挙げ、その理由を述べる。その後、各々の “vocabulary item” を全体で討議し、カテゴリーごとの新語大賞候補を投票によって 1 語に絞る。(2016 年の WOTY 候補については別紙参照)

② Word of the Year Vote on January 6th (5:00pm-6:15pm)

前日の Nominations for the 2016 Word of the year を 3 つのスクリーンに映し出し、挙手による多数決採決を行う。出席者は ADS と LSA (the Linguistic Society of America) 会員とその友人らで、決選投票の参加者は計 291 名。

(1) dumpster fire を emoji の dumpster fire と単語としても扱うことに決定³⁾。

(2) dumpster fire : an exceedingly disastrous or chaotic situation 162 票

woke : socially aware or enlightened 129 票

6. dumpster fire

① Dumpster (dump + Dempster)

A dumpster is a type of mobile garbage bin designed to be brought and taken away by a special truck (米国では「(収集用の) 鉄製大型ごみ容器」、1936 年にアメリカ人 George Roby Dempster 氏が商標登録)⁴⁾

② dumpster fire

- 1) 大型ごみ容器の火事
- 2) 手のつけられないひどい状況、最悪な状態
- 3) 手のつけられないひどい状況 [こと、人]、

最悪なこと [状態、人]、制御不能な人 [状況、状態]

(ごみ容器の中のごみは、燃え始めるとなかなか消えず、臭いも耐えがたいことから)

③ dumpster fire emoji = garbage/trash emoji + fire emoji



④ dumpster fire GIF

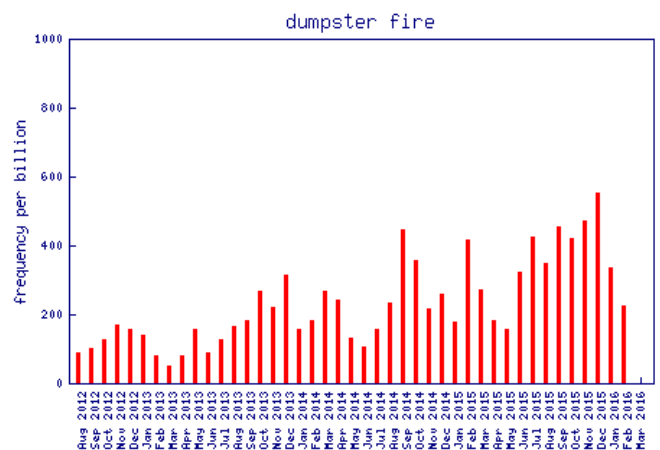
(<http://giphy.com/search/dumpster-fire>)



7. dumpster fire の使用頻度

① Oxford Dictionaries

<http://blog.oxforddictionaries.com/2016/05/dumpster-fire/>



2015 年 6 月から急速に増えているが、これは、ドナルド・トランプ氏が、大統領選への出馬表明をした時期 (6 月 16 日) と重なっている。

② Google Trend に見る “dumpster fire”

(1) “dumpster fire” v.s. “garbage fire”



eg.) “garbage fire” (or “dumpster fire,” if that’s your preference)

(<http://www.vanityfair.com/news/2016/09/2016-is-already-garbage-fire>)

(2) “dumpster fire” v.s. “trumpster fire”



(<https://www.google.co.jp/trends/explore?q=dumpster%20fire,trumpster%20fire>)

8. dumpster fire 使用例

①“Florida has not had a show like this since the last **Dumpster fire** went cold after the fight for Elian Gonzalez.” (フロリダ州がこんな騒ぎになったのは、[キューバからの亡命者]エリアン・ゴンザレス君のために闘い、大惨事が鎮火して以来だ)[2000年11月11日、The New York Times、Rick Brago] 5)

2000年米国大統領選挙直後、フロリダ州で起きた一連の投票の再集計（数え直し）を **Dumpster fire** (制御不能な状態) と形容。

②“This bloody, exploitative mess is the cinematic equivalent of a **dumpster fire**—stinky but insignificant.” (血まみれの搾取的な混沌を描いているこの作品は、ごみ容器の中

の火事のようなものだ ----- どぎついが、大したことはない)

2003年10月17日、映画評論家のビル・ミューラー氏が、Arizona Republic に書いた『The Texas Chainsaw Massacre (テキサス・チェーンソー)』の映画評 6)

③“Tank Johnson's life is a **dumpster fire.**” (タンク・ジョンソンの私生活はひどい) 7)

サウスカロライナ州コロンビアの新聞 The State が、2006年、NFLのタンク・ジョンソン選手が1年半の間に3回も逮捕され、翌年の8試合に出場停止となったことについて。

④ESPN (スポーツ専門チャンネル) のラジオ番組 The Herd with Colin Cowherd のパーソナリティーであるコリン・カウハード氏は、成績の悪いチームや選手に対して **dumpster fire** を使い続け、2010年までにこの意味を定着させるのに大いに貢献したといわれている。 8)

⑤ “It’s a **dumpster fire.** (ひどい案だね)” 2015年9月に放送されたABC製作の「ザ・マペッツ (The Muppets)」第3話、コント案について意見を求められた時の返答 9)

⑥政治雑誌の Mother Jones が“Dumpster Fire” Is 2016's Meme of the Year (2016年インターネット・ミーム大賞は dumpster fire) 10)

⑦ジャーナリストで元 CBS アンカーのダン・ラザー氏が、選挙前日に CNN に出演した際、両陣営の選挙戦 “This has been sort of a ‘dumpster fire’ of an election campaign, in which both sides.” (今回は、ずっと最悪な選挙戦といった感じでした、両陣営とも) と発言。 11)

9. 最後に

2016年のアメリカの新語は、大統領選挙中に頻繁に登場し、新たに顕著になった“vocabulary item”が数多くみられた。新カテゴリーに、‘Political Word of the Year’や‘WTF Word of the Year’が加わった理由もこれである。その中でも、‘dumpster fire’は、ドナルド・トランプ氏の選挙戦について言及する際、ソーシャルメディアのユーザーがGIF画像やemojiのdumpster fireと共に使い、既存メディアでも、2016年7月9日に、AP (Associated Press) スタイルブックが‘dumpster fire’の小文字使用を認めて以来、使用頻度が急速に上昇し、2016年の米大統領選とアメリカの今を語る上で欠かせない言葉となった。¹²⁾

‘dumpster fire’のように、ソーシャルメディアなどを通じて新語が生まれ、拡散し、定着する傾向が今後も続くことは間違いないであろう。

10. 参考文献 (References)

- 1) 「Predicting New Words: The Secrets of Their Success」, Houghton Mifflin, 2002, Allan Metcalf
- 2) 2016 WOTY 詳細
<http://www.americandialect.org/wp-content/uploads/2016-Word-of-the-Year-PESS-RELEASE.pdf>
- 3) 1月8日、Allan Metcalf氏にメールにて確認済み
- 4) George Roby Dempster:
https://en.wikipedia.org/wiki/George_Roby_Dempster
- 5)
<http://www.nytimes.com/2000/11/11/us/counting-the-vote-street-theater-south-florida-immersed-in-another-media-circus.html>
- 6) Quote Page P.1, Column 2 Database: Newspapers.com
- 7) Barry Popik via Gerald Cohen at American Dialect Society List and confirmed on newsbank.com
- 8)

<http://www.foxsports.com/watch/the-herd-with-colin-cowherd/video>

9)

<http://abc.go.com/shows/the-muppets>

10)

<http://www.motherjones.com/kevin-drum/2016/10/dumpster-fire-2016s-meme-year>

11)

<https://www.youtube.com/watch?v=ec-NCiiRgp8>

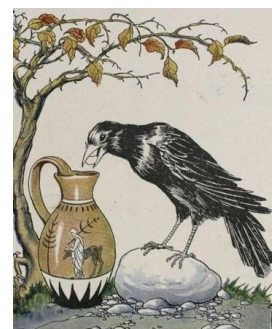
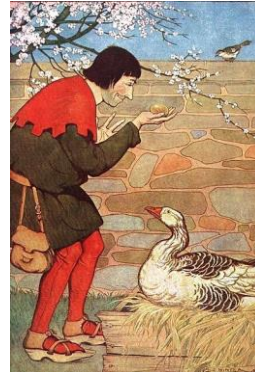
12) 2016年7月9日 APSによるツイート

<https://twitter.com/APStylebook>

“We now lowercase dumpster, so you could write dumpster fire. #APStyleChat”

★本稿は、Japan Association of Media English Studies=JAMES (日本メディア英語学会)の「第131回新語・語法研究分科会」で発表されたものを、本紙のために掲載して頂いたものです。

AESOP'S FABLES ILLUSTRATED



会員の皆さまへ

私どもの「英語のジョークを楽しむ会」は、入会時に入会金 2,000 円、毎回の研究発表会の参加者から 1,000 円、毎年の新年会では参加費の他に 500 円の運営費を頂いて運営しています。毎年の新入会員を 3 名、毎回の研究発表会参加者を 20 名、新年会参加者を 20 名として、年間合計収入は **116,000 円**です。

(内訳：2,000 円×3 名=6,000 円、1,000 円×20 名×5 回=100,000 円、500 円×20 名=10,000 円)

一方支出は、年間 5 回開かれる研究発表会の会場である「日本近代文学館」会議室の使用料が一回 10,300 円(税込み)で、年間 51,500 円、ホームページ管理費(プロバイダー料金を含む)が年間 60,432 円(送金手数料込み)で、年間合計支出は **111,932 円**です。

通常の研究発表会と新年会の参加者を平均 20 名と申し上げましたが、実態は 17~19 名ほどですので、年間の収支は、±0 円というところでした。したがって、新たな支出をとまなう活動を企画することは、ほとんど不可能です。(以前は、外部講師を招いたり、研究発表会での発表者に、プリント代等として当日の参加費 1,000 円を免除する、などのことをしておりました。)なお、この会は運営委員の無償奉仕によって運営されております。

ホームページ開設の目的は、本会の活動内容を社会的に公開し、会員増の手立てとすることにありましたが、過去 10 年の実態から、その目的は達せられていないことが分かりました。また、会報に掲載されホームページ上で公開されている、絵画・写真・イラスト等について、著作権侵害の恐れなしとしない、とのご批判も頂きました。

そこで、企画運営委員会で検討した結果、本年二月末をもってホームページを閉じることにいたしました。**今後、会報はヤフーメールによって、会員の皆さまへ直接送信されます。**会報のバックナンバー等、ホームページ上に掲載されていたデータは、そのほとんどを USB に移し替えて保存しましたので、必要とされる方はお申し出ください。

JLC 創立十周年記念

第 60 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちいたします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

● 日時：**2017 年 3 月 18 日 (土)**

14:00~16:00

● 会場：**日本近代文学館** (2 階会議室)
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)

電話：03-3468-4181

● 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷駅から二つ目)下車徒歩約 7 分。

● プログラム

司会=豊田一男会員

① 記念講演 宮本倫好代表

「日本人とユダヤ人—江戸川柳とユダヤ・ジョークに見るユーモアの差」

② 第 35 回ジョーク・コンテスト

MC=棚橋征一会員

参加費：会員・非会員とも 1,000 円

連絡先：jlcweb-renraku@eigojoker.com

第 35 回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、**30 WORDS** を上限とします。
2. 出題数はお一人一題までとします。
3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。

● 宛先：jlcweb-renraku@eigojoker.com

● 締め切り：**2017 年 3 月 5 日(日)**

WE, JOKERS No.59

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

● 発行日：2017 年 2 月 10 日

● 発行人：世話人代表 宮本倫好

● 編集人：佐川光徳

● 連絡先：jlcweb-renraku@eigojoker.com